

Fusion

ウイリーバー取扱説明書

- 安全にご使用いただくために -

- *ご使用前に、本書を最後までよくお読みください。
- *お子様が使用される場合は、保護者の方が本書をよくお 読みになり、万全なご指導をお願いします。
- *日頃の点検を怠ると、思わぬ事故や車いすの破損のおそれがあります。

<ウイリーバーの種類>

ウイリーバーには、次の2種類があります。ご確認ください。 ※タイヤサイズが22・23インチの場合、調節穴は2つです。

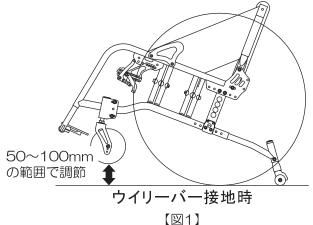
Aタイプ: Fusionレギュラーフレーム

0 0 0

Bタイプ:Fusionフラットフレーム

<ウイリーバー調節時の注意>[図1]

Aタイプ・Bタイプの取付け、調節方法は同じですが、調節時には【図1】のように、ウイリーバーが接地している時にフロントキャスターと地面の間隔が50~100mmになるように調節してください。



販売元

株式会社オーエックスエンジニアリング

ウイリーバーの取付け・調整

<ウイリーバーの取付け・調節>[図2]

Aタイプ・Bタイプとも調節方法は同様です。

- 1)フレームの調節穴とアクスルプレートを保持している③・④の 固定穴に、ウイリーバーアッパーの調節穴を合わせ、①ボルト・ ワッシャー・ナットで固定する。
- 2) <ウイリーバー調節時の注意>【図1】を参照し、ウイリーバーアッパーの固定穴にウイリーバーアンダーの調節穴を合わせ、②ボルト・ワッシャー・ナットで固定する。
- 3) 左右同様に取付け、調節する。

①ボルト・ワッシャー・ナット締付けトルク $6N \cdot m(O.6kg f \cdot m)$ ②ボルト・ワッシャー・ナット締付けトルク $6N \cdot m(O.6kg f \cdot m)$

▲警告

ボルト・ナットは必ず規定トルクで締付ける。

*ウイリーバーが外れ後方へ の転倒のおそれがあります。

▲警告

調節後はウイリーバー接地時に後方へ転倒・ 転落しないか確認して ください。

*キャスター(前輪)が高く上 がる設定をすると後方へ転 倒もしくは乗車している方が 転落するおそれがあります。

⚠注意

歩道などの段差を乗り越えるときは注意する。

*ウイリーバーが段差に引っ かかり、転倒や転落のおそ れがあります。

